

令和6年
岩手県教育委員会定例会
4月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和6年4月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和6年4月15日(月)午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 事務報告1 令和6年2月県議会定例会の概要について

(教育企画室)

第3 事務報告2 令和6年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について

(学校教育室)

第4 議案第1号 岩手県文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて

(生涯学習文化財課)

第5 議案第2号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

(サービス管理監)

閉会

事務報告 1

令和 6 年 2 月県議会定例会の概要について

令和 6 年 2 月県議会定例会が開催されましたので、概要について別紙のとおり報告します。

令和 6 年 4 月 15 日

令和6年2月県議会定例会の概要について

2月県議会定例会の概要は、次のとおりであった。

1 日 程

2月14日（水）	本会議（招集、知事演述、教育長演述、議案等の提案）
2月21日（水）～28日（水）	本会議（代表質問、一般質問、質疑、委員会付託）
2月29日（木）	常任委員会
3月1日（金）	本会議（常任委員会委員長報告、討論、採決）
3月4日（月）～5日（火）	予算特別委員会（総括質疑）
3月5日（火）～15日（金）	予算特別委員会（教育委員会審査：3月8日（金））
3月18日（月）	常任委員会
3月22日（金）	本会議（常任委員会委員長報告、予算特別委員会委員長報告、採決、議案の提案、採決）

2 代表質問・一般質問

(1) 会派別一般質問議員数（16人）

希望いわて	5人
自由民主党	5人
いわて新政会	1人
いわて県民クラブ・無所属の会	1人
日本共産党	1人
社民党	1人
公明党	1人
無所属	1人

(2) 代表質問（教育委員会関係：1人）

次の議員から質問があり、知事が答弁した。

ア 吉田 敬子 議員 2件

(ア) 教育について

- ① 県立高校における県外募集の推進について
- ② 図書館等を活用した多様な学びと居場所の提供について

(3) 一般質問（教育委員会関係：10人）

次の議員から質問があり、教育長が答弁した。

ア 高橋 はじめ 議員 1件

(ア) 食料安全保障への取組と安全安心の食料生産について

- ① 安全安心の食料生産について
 - a 学校給食への有機農産物の利用促進について

イ 小西 和子 議員 3件

(ア) ゆたかな教育の実現について

- ① 学校教育の競争的システムの是正について
- ② 教職員の働き方改革について
 - a 人員配置について
- ③ 安全でゆたかな学校給食について

ウ 城内 愛彦 議員 2件

(ア) 県立高校の在り方について

- ① 県立高校の望ましい学校規模と配置について
- ② 高校再編に伴う通学支援について

エ 岩淵 誠 議員 1件

(ア) 新年度予算案について

- ① 外国人労働者の確保について
 - a 子どもの教育支援について

オ 高橋 こうすけ 議員 5件

(ア) 教育施策について

- ① 教員のICT指導力の向上について
- ② 「GIGAスクール運営支援センター」の整備等について
- ③ 特別支援学校の教室不足の現状分析等について
- ④ 高校における通級による指導について
- ⑤ いじめ防止対策について

カ 千葉 秀幸 議員 3件

(ア) 教育振興について

- ① 県立高校入試制度の見直しについて
- ② 特色入学者選抜導入の経緯について
- ③ 他県の制度を参考とした見直しについて

キ 斉藤 信 議員 3件

(ア) 不來方高校・盛岡第一高校事件の検証と再発防止について

- ① 調査検証委員会設置を求める要望書とその対応について
 - ② 教職員の不祥事案等とその要因・対策について
- (イ) 盛岡みたけ支援学校高等部の通学バス問題について

ク 菅原 亮太 議員 5件

(ア) 医師の確保について

① 県立高校への医系進学コースの設置について

(イ) 学力向上と教員のスキルアップについて

① 学力向上の目標設定について

② 学力向上の取組方針について

③ 学力向上に向けたデジタル活用について

④ 教員のスキルアップについて

ケ 小林 正信 議員 3件

(ア) 教育施策について

① 国語力強化について

② 文学作品に親しむ機会の提供について

③ 児童生徒の読書の推進について

コ 田中 辰也 議員 5件

(ア) 将来を担う人材育成について

① 高等学校教育の充実について

a 県立福岡高校について

b 県立北桜高校について

c 小規模校の在り方と学びの機会の保障について

(イ) 安心して生活できる地域づくりについて

① 障がい者福祉について

a 特別支援学校の整備について

② 難病を持つ児童生徒への学校給食における対応について

3 文教委員会【2月29日（木）】

(1) 議案の審議

ア 議案第87号「令和5年度岩手県一般会計補正予算（第6号）第1条 第2項 第1表 歳入歳出予算補正中 歳出 第10款 教育費」について、教育企画室長兼教育企画推進監から提案理由の説明を行った。

(ア) 質問等

岩崎友一委員、斉藤信委員及び小林正信委員からいわての学び希望基金に関する奨学金の補正理由、退職手当の増額理由、特別支援学校の人件費減額理由等について質問があり、関係室課長等が答弁した。

(イ) 採決

原案どおり可決された。

イ 議案第104号「公立学校情報機器整備基金条例について」、教育企画室長兼教育企画推進監から提案理由の説明を行った。

(ア) 質問等

斉藤信委員から端末の更新に要する経費、県立学校の整備状況、端末購入の保護者負担等について質問があり、関係室課長が答弁した。

(イ) 採決

原案どおり可決された。

(2) その他（この際発言）

ア 「岩手県教職員働き方改革プラン（2024～2026）について」、教職員課総括課長から報告を行った。

(ア) 質問等

小西和子委員、岩崎友一委員、工藤大輔委員、斉藤信委員及び小林正信委員から教職員の長時間勤務の実態、複数担任制の導入、具体的な時間縮減への取組、長時間勤務の要因、部活動の現状及び退職者の退職理由等について質問があり、教育長及び関係室課長が答弁した。

イ 上記の他、関根敏伸委員、小西和子委員、斉藤信委員及び小林正信委員から高校魅力化、いわて留学に係る取組、勤務環境の整備、県教委の少子化対策、通学バスの運用、夜間中学の方向性、いじめ・不登校対策等について質問があり、教育長及び関係室課長が答弁した。

4 予算特別委員会の審議

(1) 総括質疑【3月4日（月）～5日（火）】（教育委員会関係：4人）

次の委員から質問があり、知事及び菊池副知事が答弁した。

ア 高橋 穂至 委員 2件

(ア) 人口減少対策について

① 自然減対策の主な事業について

a 学校給食費の無償化について

② 社会減対策の主な事業について

a 地域教育・ふるさと教育の充実と展開について

イ 佐藤 ケイ子 委員 1件

(ア) 県職員について

① 教職員の働き方改革について

ウ 柳村 一 委員 1件

(ア) DXの推進について

① 教育現場におけるDXについて

エ 佐々木 努 委員 1件

(ア) 給食費の無償化について

(2) 教育委員会審査【3月8日（金）】

令和6年度予算について教育長から説明を行い、次の委員から質問があり、教育長及び関係室課長等が答弁した。

ア 神崎 浩之 委員 13件

(ア) 学校給食費の無償化について

- ① 法整備の必要性について
- ② 全国の状況について
 - a 全国と本県の比較について
 - b 全国との「給食費」の比較について
 - c 給食提供日数の比較について
- ③ 実施している自治体数と財源について
- ④ 国の方針について
- ⑤ 本県の状況について
 - a 実態調査について
 - b 実施自治体の実態調査について
 - c 成果及び課題について
- ⑥ 本県の実施状況について

(イ) 教育のDXについて

- ① 心の健康観察システムについて
- ② 遠隔教育について
- ③ 教員のデジタル活用について

イ 五日市 王 委員 7件

(ア) 北桜高校について

- ① 開校に向けた検討状況等について
- ② 教職員体制について
- ③ 開校に対する生徒・保護者の受け止めについて

(イ) 二戸に新設される特別支援学校について

- ① 新年度の事業内容について

② 校舎の特徴について

③ 県立学校の zeb 導入の目標について

④ インクルーシブ教育の推進について

ウ 中平均 委員 3件

(ア) 久慈東高校と久慈工業高校の統合について

(イ) ICT教育について

① ICT教育について

② 遠隔支援ネットワーク事業について

エ ハクセル 美穂子 委員 3件

(ア) 学校教育DX推進事業について

① 希望する市町村立小中学校数について

② 支援内容について

(イ) 遠隔教育による学びの機会充実事業について

オ 福井 せいじ 委員 5件

(ア) 県立高等学校再編計画後期計画について

① 高校教育の意義と必要な環境整備について

② 高校再編の方向性について

(イ) 学校教育と少子化対策について

① 郷土愛の取組について

② キャリア教育の取組について

③ 高校卒業時におけるUターン呼びかけの取組について

カ 郷右近 浩 委員 2件

(ア) 高校再編計画について

① 後期計画における統合の進捗について

② 今後の進め方について

キ 吉田 敬子 委員 8件

(ア) 読書バリアフリー法について

(イ) 公立図書館と学校図書館のDXの取組について

(ウ) 子どもの読書活動推進計画について

① 第5次岩手県子どもの読書活動推進計画について

② 現状の課題と今後の取組について

③ 「ブックスタート」の取組状況について

(エ) 不登校等生徒指導に関する調査結果について

(オ) 不登校生徒の学びの場の確保について

① 県立図書館の分室について

② 盛岡市動物公園内に設置のフリースクールについて

ク 臼澤 勉 委員 10件

(ア) 高校再編計画について

① 学力向上策の具体性について

② 進学支援の具体的な施策について

③ 指標に基づく評価について

④ 進学支援策の具体的な成果と改善計画について

⑤ 高校魅力化のための具体的な施策と評価について

⑥ 医系進学コースの創設について

(イ) 不登校対策について

① 不登校生徒の現状把握について

② 多様な支援策の展開について

③ 不登校生徒の支援体制について

④ 不登校生徒のニーズ把握と支援内容のマッチングについて

ケ 岩淵 誠 委員 7件

(ア) ICT活用の状況について

① 一人一台端末の利用率改善について

② 利用率の向上について

③ 教育DXについて

④ 40代 - 50代の教員の活用指導力対応について

(イ) 新学習指導要領への対応について

① 新学習指導要領に対応した大学入試への対応について

② 新学習指導要領の趣旨を踏まえた大学入試の動向について

③ 学校現場での取組と成果について

コ 佐々木 朋和 委員 11件

(ア) COCOLOプランへの本県の対応について

① COCOLOプランへの本県の対応について

a 不登校児童生徒の学びの環境の整備について

b 不登校児童生徒の保護者への支援について

c 福祉部局との連携強化について

d 学校の風土の「見える化」について

② 不登校特例校（学びの多様化学校）の設置について

③ 夜間中学校の今後の方向性について

④ 教育支援センターの支援機能強化等について

⑤ フリースクール設置への取組について

(イ) 部活動について

① 中学校における部活動加入率について

② 新たな地域クラブ活動の金銭的・時間的負担について

③ 地域クラブ活動に係る経費について

サ 佐々木 宣和 委員 7件

(ア) 学力向上についての取組について

① 学力の把握について

② 新年度の取組について

③ デジタルツールを活用した取組について

(イ) G I G Aスクール構想の実現について

① 端末の更新について

② 統合型校務支援システムについて

③ 高機能 I C T機器の整備について

(ウ) 地域教育・ふるさと教育の充実と展開について

シ 佐藤 ケイ子 委員 4件

(ア) 教職員の働き方改革について

① 教職員をサポートする体制について

② スクールロイヤーについて

③ 業務のスクラップについて

(イ) 児童生徒の生理について

ス はぎの 幸弘 委員 10件

(ア) 遠隔教育による学びの機会充実事業費について

① 事業内容について

② 経費について

③ 対象となる校種について

④ 予算の内訳について

⑤ 教員のスキルアップにかかる予算について

(イ) 学校教育D X推進事業費について

① 事業費の内訳について

② 事業の重点について

③ 事業効果について

(ウ) 学び直しへの支援事業費について

(エ) 部活動の地域移行について

セ 畠山 茂 委員 7件

(ア) 遠隔教育による学びの機会充実事業について

(イ) 心の健康観察システム活用推進事業について

(ウ) 確かな学力育成加速化事業について

(エ) G I G Aスクール運営支援センターの体制強化を図る事業について

(オ) 防災教育について

(カ) 部活動の地域移行について

(キ) 不登校対策強化事業について

ソ 鈴木 あきこ 委員 4件

(ア) 文化財保護事業費について

① 予算について

② 志波城跡の管理について

(イ) 県の無形民俗文化財について

① 本県の無形民俗文化財指定件数について

② 県への相談について

タ 松本 雄士 委員 8件

(ア) 【徳育】豊かな人間性と社会性の育成について

① 具体的なカリキュラム編成について

② 教員研修の実施状況について

③ 指導運営費（道徳教育推進事業費）に係る成果指標について

(イ) 教員の負担軽減について

① 「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づく取組状況と負担軽減状況について

② 「統合型校務支援システム」の導入状況について

③ 教員業務支援員と学習指導員の配置基準について

(ウ) 特別支援学校への通学支援について

① 通学実態の調査について

② ケアが必要な児童の送迎について

チ 村上 秀紀 委員 3件

(ア) 県立高等学校入学者選抜について

- ① 令和6年度入試で面接を再開した理由と行わなかった期間の弊害について
- ② 志願倍率が1倍に満たない学校における入学者選抜実施の必要性について
- ③ 入試制度の今後の方向性について

ツ 高田 一郎 委員 11件

(ア) 就学援助制度について

- ① 単価の見直し等について
- ② 認定基準の見直しについて

(イ) 学校給食における物価高騰への対応について

- ① 小中学校の対応について
- ② 県立学校の対応について

(ウ) スクールロイヤール相談体制整備事業費について

(エ) 学校の健診対策について

- ① 要受診者の実態と対応について
- ② 未受診の要因と対策について
- ③ 養護教諭の役割について

(オ) 安心して学べる環境について

- ① 換気対策設備の設置状況について
 - a 小中学校の状況について
 - b 県立学校の状況について
- ② 屋内運動場のエアコン設置状況について

テ 田中 辰也 委員 2件

(ア) 60周年を迎える教育振興運動について

(イ) 郷土愛をはぐくむ教育について

5 文教委員会【3月18日（月）】

(1) 議案の審議

ア 議案第78号「権利の放棄に関し議決を求めることについて」、教職員課総括課長から提案理由の説明を行った。

(ア) 質問等

齊藤信委員から過払い返納金が発生した経緯、重大事案に対する対応等について質問があり、教育長及び関係室課長等が答弁した。

(イ) 採決

原案どおり可決された。

(2) その他（この際発言）

ア 「岩手県教育振興計画（2024～2028）最終案について」、教育企画室長兼教育企画推進監から報告を行った。

(ア) 質問等

小西和子委員、飯澤匡委員及び齊藤信委員から目標値と実績値の乖離、イノベーション人材の育成、目標設定の理由等について質問があり、教育

長及び関係室課長が答弁した。

イ 「いわて特別支援教育推進プラン（2024～2028）最終案について」、学校教育室特別支援教育課長から報告を行った。

(7) 質問等

小西和子委員からインクルーシブ教育の取組、就学後の合理的配慮、特別支援学校教員による学校支援等について質問があり、関係室課長が答弁した。

ウ 上記の他、小西和子委員、工藤大輔委員、斉藤信委員及び小林正信委員から県教委が行う少子化対策、働き方改革、生徒の進路選択と進路、盛岡みたく支援学校通学バス、再発防止「岩手モデル」策定委員会、学校給食費の値上げ、高校生の国際交流、県立図書館及び図書館司書等について質問があり、教育長及び関係室課長が答弁した。

エ 「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針について」、保健体育課総括課長から報告を行った。

(7) 質問等

小西和子委員及び斉藤信委員から地域の指導者の現状と報酬等、指導者の確保、地域クラブ活動への移行、部活動の教育的意義、地域クラブ活動の運営等について質問があり、文化スポーツ部及び関係室課長が答弁した。

※ 議員毎の件数は項目数であり、同一項目の関連質問は含んでいないため、件数と答弁実績数は一致していないこと。

事務報告 2

令和6年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について

令和6年度の岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について、別紙のとおり報告します。

令和6年4月15日

令和6年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について

1 学級設置の基本的な考え方

障がいのある生徒に一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、望ましい成長発達を促すとともに、社会参加と自立を図るため、県立特別支援学校高等部の在籍数及び入学希望見込みの増減等を勘案し、毎年度適正規模に調整するものとする。

2 学級数の増減

学校名	部・科・学級	予定(10月時点)		決定(4月1日時点)		増減		備考
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員	
盛岡視覚	高等部・普通科・通常学級	1	8	0	0	△1	△8	入学予定者なし
	高等部・保健医療科・通常学級	1	8	0	0	△1	△8	入学予定者なし
盛岡となん	高等部・普通科・重複障がい学級	5	15	4	12	△1	△3	
盛岡みたけ	高等部・普通科・通常学級	2	16	3	24	1	8	
	高等部・普通科・重複障がい学級	4※	12※	5※	15※	1	3	
盛岡みたけ 二戸分教室	高等部・普通科・重複障がい学級	2※	6※	1※	3※	△1	△3	入学予定者なし (2・3年生のみの学級)
盛岡ひがし	高等部・普通科・通常学級	3	24	2	16	△1	△8	
	高等部・普通科・重複障がい学級	3※	9※	5※	15※	2	6	
花巻清風	高等部・普通科・重複障がい学級	4※	12※	6※	18※	2	6	
前沢明峰	高等部・普通科・重複障がい学級	4※	12※	5※	15※	1	3	
一関清明	高等部・普通科・重複障がい学級	4※	12※	6※	18※	2	6	
釜石祥雲	高等部・普通科・(知的)通常学級	2	16	1	8	△1	△8	
	高等部・普通科・(病・肢)通常学級	1	8	0	0	△1	△8	入学予定者なし

・※は、1～3学年を通じた学級数・定員として示しているものであること。

3 〈参考〉令和3年度以降の県立特別支援学校高等部学級数・合格者数（訪問教育を除く）

	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)
通常学級	28 (35)	154名 (280名)	27 (32)	151名 (256名)	28 (34)	145名 (272名)	32 (38)	192名 (304名)
重複障がい学級	45 (39)	48名 (117名)	43 (38)	45名 (114名)	38 (38)	47名 (114名)	33 (37)	45名 (111名)
合計	73 (74)	202名 (397名)	70 (70)	196名 (370名)	66 (72)	192名 (386名)	65 (75)	237名 (415名)

- ・通常学級は、1学級8名定員を基準とする。
- ・重複障がい学級は、1学級3名定員を基準とする。また重複障がい学級は1～3年を通じた学級である。

＜資料＞令和6年度岩手県立特別支援学校高等部・専攻科学級数及び合格者数一覧

対応障がい	学校名	部	学科	募集人数	志願者数	合格者数	入学辞退者数	学級数	備考		
視覚障がい	盛岡視覚支援学校	高等部	普通科	8	0	0	0	通常 0学級	1学級減		
				3	1	1	0	重複 1学級			
		専攻科	保健理療科	8	0	0	0	通常 0学級	1学級減		
			理療科	8	1	1	0	通常 1学級			
聴覚障がい	盛岡聴覚支援学校	高等部	普通科	8	3	3	0	通常 1学級			
				3	2	2	0	重複 1学級			
		専攻科	産業技術科	8	1	1	0	通常 1学級			
			産業技術科	8	4	4	1	通常 1学級			
不自由	盛岡となん支援学校	高等部	普通科	8	3	3	0	通常 1学級			
				15	11	11	0	重複 5学級	1学級減		
病弱	盛岡青松支援学校	高等部	普通科	8	1	1	0	通常 1学級			
				6	6	6	0	重複 2学級			
知的障がい	盛岡峰南高等支援学校	高等部	生活科学科	32	38	30	0	通常 4学級			
			農産技術科								
			加工生産科								
			流通・サービス科								
	盛岡みたけ支援学校	高等部	普通科		16	19	19	0	通常 2学級	1学級増	
					12	3	3	0	重複 4学級 ※	1学級増	
			二戸分教室	普通科		8	4	4	0	通常 1学級	
						6	0	0	0	重複 2学級 ※	1学級減
盛岡ひがし支援学校	高等部	普通科		24	12	11	0	通常 3学級	1学級減		
				9	6	6	0	重複 3学級 ※	2学級増		

対応障がい	学校名	部	学科	募集人数	志願者数	合格者数	入学辞退者数	学級数	備考	
知的障がい・肢体不自由	花巻清風支援学校	高等部	普通科	24	18	18	1	通常 3学級		
				12	4	4	0	重複 4学級 ※	2学級増	
	前沢明峰支援学校	高等部	普通科	24	19	19	1	通常 3学級		
				12	2	2	0	重複 4学級 ※	1学級増	
	気仙光陵支援学校	高等部	普通科	8	7	7	0	通常 1学級		
				3	1	1	0	重複 1学級 ※		
	宮古恵風支援学校	高等部	普通科	16	12	12	0	通常 2学級		
				9	2	2	0	重複 3学級 ※		
	久慈拓陽支援学校	高等部	普通科	8	10	10	0	通常 1学級		
				6	3	3	0	重複 2学級 ※		
	い病・弱肢・体的知的不自由が	一関清明支援学校	高等部	普通科(知的)	16	11	11	0	通常 2学級	
				普通科(病・肢)	8	2	2	1	通常 1学級	
普通科				12	5	5	0	重複 4学級 ※	2学級増	
普通科				3	1	1	0	重複 1学級		
	あすなる分教室									
い病・弱肢・体的知的不自由が	釜石祥雲支援学校	高等部	普通科(知的)	16	3	3	0	通常 2学級	1学級減	
			普通科(病・肢)	8	0	0	0	通常 0学級	1学級減	
			普通科	3	0	0	0	重複 1学級 ※		
			普通科	3	1	1	0	重複 1学級		
	しゃくなげ分教室									
ハ訪問教育√	盛岡となん支援学校	高等部	普通科	若干名	2	2	0		※	
	盛岡みたけ支援学校		普通科	若干名	0	0	0		※	
	花巻清風支援学校		普通科	若干名	2	2	0		※	
	前沢明峰支援学校		普通科	若干名	0	0	0		※	
	一関清明支援学校		普通科	若干名	0	0	0		※	
	気仙光陵支援学校		普通科	若干名	0	0	0		※	
	釜石祥雲支援学校		普通科	若干名	0	0	0		※	
	宮古恵風支援学校		普通科	若干名	0	0	0		※	
	久慈拓陽支援学校		普通科	若干名	0	0	0		※	

※は1～3学年を通じた人数として示している。

議案第1号

岩手県文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて

次のとおり岩手県文化財保護審議会委員の任命をすることについて、議決を求める。

任命（令和6年5月1日付）

職 名 等	氏 名
東北学院大学教授	兼 平 賢 治
一関市博物館主任学芸員	小 岩 弘 明
長岡造形大学准教授	津 村 泰 範
東北歴史博物館上席主任研究員兼学芸班長	政 次 浩
建築装飾技術史研究所所長	窪 寺 茂
元仙台市博物館副館長	高 橋 あけみ
盛岡大学名誉教授	熊 谷 常 正
北海道大学大学院教授	高 瀬 克 範
弘前大学教授	小 岩 直 人
岩手大学講師	松 木 佐和子
一関市教育委員会文化財調査研究員	東 資 子
佛教大学通信教育部非常勤講師	中 嶋 奈津子

令和6年4月15日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 一 男

理由

岩手県文化財保護審議会委員の任命をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県文化財保護審議会委員 新旧対照表

委員任期：令和6年5月1日～令和8年4月30日

No	選出区分	所属部会	専門分野	現委員						新委員(案)							
				※年齢は令和5年5月1日現在						※年齢は令和6年5月1日現在							
				職名等(就任時)	氏名	年齢	性別	居住地	初任命	任期	職名等	氏名	年齢	性別	居住地	備考	
1	学識経験者	第1部会	有形文化財 (古文書・歴史資料)	東海大学准教授	兼平 賢治	46	男	神奈川県伊勢原市	H30.5.1	R6.4.30	東北学院大学教授	兼平 賢治	47	男	宮城県仙台市	4期	
2			有形文化財 (美術・工芸品)	一関市博物館主任学芸員	小岩 弘明	64	男	一関市	H30.5.1	R6.4.30	一関市博物館主任学芸員	小岩 弘明	65	男	一関市	4期	
3			有形文化財 (建造物)	長岡造形大学准教授	津村 泰範	50	男	新潟県長岡市	R4.5.1	R6.4.30	長岡造形大学准教授	津村 泰範	51	男	新潟県長岡市	2期	
4			有形文化財 (美術・彫刻)	東北歴史博物館上席主任研究員兼学芸班長	政次 浩	57	男	宮城県仙台市	R4.5.1	R6.4.30	東北歴史博物館上席主任研究員兼学芸班長	政次 浩	58	男	宮城県仙台市	2期	
5			有形文化財 (美術・歴史資料)	元秋田県立博物館館長	高橋 正	62	男	秋田県由利本荘市	R2.5.1	R6.4.30							
6			有形文化財 (建造物)									建築装飾技術史研究所所長	窪寺 茂	72	男	奥州市	新任
7			有形文化財 (美術・工芸品)									元仙台市博物館副館長	高橋 あけみ	62	女	宮城県仙台市	新任
8		第2部会	記念物(史跡) 埋蔵文化財	盛岡大学名誉教授	熊谷 常正	70	男	盛岡市	H30.5.1	R6.4.30	盛岡大学名誉教授	熊谷 常正	71	男	盛岡市	4期	
9			記念物(史跡) 埋蔵文化財	御所野縄文博物館館長	高田 和徳	73	男	一戸町	H28.5.1	R6.4.30	北海道大学大学院教授	高瀬 克範	50	男	北海道札幌市	新任	
10		第3部会	天然記念物 (地質鉱物)	弘前大学教授	小岩 直人	57	男	青森県弘前市	R2.5.1	R6.4.30	弘前大学教授	小岩 直人	58	男	青森県弘前市	3期	
11			天然記念物 (植物)	岩手大学講師	松木 佐和子	47	女	盛岡市	R4.5.1	R6.4.30	岩手大学講師	松木 佐和子	48	女	盛岡市	2期	
12		第4部会	無形民俗文化財	一関市教育委員会文化財調査研究員	東 資子	57	女	一関市	R4.5.1	R6.4.30	一関市教育委員会文化財調査研究員	東 資子	58	女	一関市	2期	
13			無形民俗文化財	元財団法人石川啄木記念館学芸員	山本 玲子	65	女	八幡平市	H26.5.1	R6.4.30	佛教大学通信教育部非常勤講師	中嶋 奈津子	59	女	盛岡市	新任	

【審議会の設置・運営に関する指針】

		(現) R5.5.1現在	(新) R6.5.1現在
委員数	原則20人以内	11人	12人
委員の男女比率	40%以上目標	72.7% : 27.3%	66.7% : 33.3%
若手委員(50歳未満)登用率	25%以上目標	18.2%	16.6%
委員の平均年齢		58.9歳	58.3歳
在任期間8年超	原則8年間限度	0人	0人

【部会構成と調査研究事項】

第1部会	有形文化財に関する事項
第2部会	史跡及び埋蔵文化財に関する事項
第3部会	史跡以外の記念物に関する事項
第4部会	無形文化財及び民俗文化財に関する事項

根拠法令等（抜粋）

文化財保護法（昭和25年法律第214号）

（地方文化財保護審議会）

第190条 都道府県及び市町村（いずれも特定地方公共団体であるものを除く。）の教育委員会に、条例の定めるところにより、文化財に関して優れた識見を有する者により構成される地方文化財保護審議会を置くことができる。

2 特定地方公共団体に、条例の定めるところにより、地方文化財保護審議会を置くものとする。

3 地方文化財保護審議会は、都道府県又は市町村の教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、並びにこれらの事項に関して当該都道府県又は市町村の教育委員会に建議する。

4 地方文化財保護審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、条例で定める。

岩手県文化財保護審議会条例（昭和51年条例第45号）

（設置）

第1条 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第190条第1項の規定に基づき、岩手県文化財保護審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

第2条 審議会は、委員16人以内をもって組織する。

2 委員は、文化財に関し学識経験を有する者及び関係行政機関の職員のうちから教育委員会が任命する。

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

岩手県文化財保護条例（昭和51年条例第44号）

第2章 県指定有形文化財

（指定）

第4条 教育委員会は、県の区域内に存する有形文化財のうち重要なものを岩手県指定有形文化財（以下「県指定有形文化財」という。）に指定することができる。

3 教育委員会は、第1項の規定に基づく指定をしようとするときは、あらかじめ、岩手県文化財保護審議会の意見を聴かなければならない。

第3章 県指定無形文化財

第24条 教育委員会は、県の区域内に存する無形文化財のうち重要なものを岩手県指定無形文化財（以下「県指定無形文化財」という。）に指定することができる。

3 教育委員会は、第1項の規定に基づく指定又は前項の規定による認定をしようとするときは、あらかじめ、岩手県文化財保護審議会の意見を聴かなければならない。

第4章 県指定有形民俗文化財及び県指定無形民俗文化財

第30条 教育委員会は、県の区域内に存する有形の民俗文化財のうち重要なものを岩手県指定有形民俗文化財（以下「県指定有形民俗文化財」という。）に、無形の民俗文化財のうち重要なものを岩手県指定無形民俗文化財（以下「県指定無形民俗文化財」という。）に指定することができる。

2 第4条第2項から第6項までの規定は前項の規定に基づく県指定有形民俗文化財の指定について、第24条第3項の規定は前項の規定に基づく県指定無形民俗文化財の指定について準用する。

第5章 県指定史跡名勝天然記念物

第37条 教育委員会は、県の区域内に存する記念物のうち重要なものを岩手県指定史跡、岩手県指定名勝又は岩手県指定天然記念物（以下「県指定史跡名勝天然記念物」と総称する。）に指定することができる。

2 第4条第2項から第5項までの規定は、前項の規定に基づく指定について準用する。